

令和4年度 第2回小野市国民健康保険運営協議会

1 日 時 令和5年1月24日（火） 13時25分～14時15分

2 場 所 小野市役所 本庁舎2階 オープン会議室

3 出席者

被保険者代表 ・吉田 肇 ・前田 弘子 ・上山 昌子

保険医代表 ・田中 靖 ・芝本 真和

公益代表 ・小林 昌樹 ・松永 美由紀 ・小塩 慶明

被用者保険オブザーバ ・潟渕 洋生

事務局 ・市民福祉部長 岡本 智弘 ・市民課長 藤原 周平

・市民課主幹 仲山 聖 ・市民課主務 一矢 直也

4 会議内容

(1) 開会

(2) 自己紹介

(3) 会議録署名委員の指名

(4) 協議事項 国民健康保険の運営・制度改正等

①被保険者数の推移

②医療費の推移

③事業納付金及び保険税率改定

④課税限度額・軽減判定基準の改定

⑤出産育児一時金の改正

⑥令和5年度国民健康保険特別会計当初予算（案）

(5) 閉会

(1) 開会

【事務局】本日、西山委員様のご欠席との連絡がありましたので、ご報告いたします。なお、本日の会議は過半数の出席を頂いており、成立していることを宣言いたします。

(2) 自己紹介

(3) 会議録署名委員の指名 吉田肇委員、田中靖委員

(4) 協議事項

【事務局】国民健康保険事業の運営・制度改正について、①②の運営状況について説明し、一旦ご質問をお受けします。のち③の諮問内容と制度改正を説明、質問をお受けしたのち、残る④⑤の制度改正と⑥新年度予算案について、説明いたします。

①被保険者数の推移（資料2ページ）

②医療費の推移（資料3ページ）

【小塩委員】被保険者数が減っているのは人口減の影響でしょうか。

【事務局】人口減の影響もありますが、75歳になると自動的に後期高齢者医療保険へ移行となります。一方、以前は60歳になられると国民健康保険に加入される方が多かったのですが、現在は社会保険に加入される期間が長くなっており、その分減少者数が多くなっています。

【事務局】③の納付金及び税率改定（資料4ページから7ページ・諮問書）

【潟渕オブザーバ】小野市の国保税率は県下で高い方ですか？低い方ですか？

【事務局】高い方です。県に近づけるため国保税率を下げています。一方で県の方針は均等割と平等割が7：3となっており、子育て世代の負担が増えています。県との整合性に苦慮しており、これは他市も同様と聞いています。

【小林会長】市長からの諮問に対して、案のとおり決定します。答申書は本日付で市に提出いたします。

【事務局】④以降について

- ④課税限度額・軽減判定基準の改定（資料 8 ページ）
- ⑤出産育児一時金の改正（資料 9 ページ、10 ページ）
- ⑥令和 5 年度当初予算案（資料 11 ページ、12 ページ）

【前田委員】今年度のお産育児一時金が10件となっていますが、小野市で10人しかお産していないというわけではないですね。

【事務局】小野市全体というわけではありません。お産される方のほとんどは社会保険に加入しておられます。

【前田委員】それにしても少ないですね。今高校生の孫が生まれた時でもお産費用は50万円近くかかったので、今回の改正でもまだ50万円かという印象です。

【吉田委員】設定収納率が96%もありますが大丈夫ですか。

【事務局】小野市の収納率は例年県下の上位5位には入っています。令和 3 年度の実績は96%超であり、96%は達成可能な設定と考えています。

【吉田委員】収納率が高いのを伺い、安心しました。

【会長】質問がないようですので、議事の終了といたします。

(5) 閉会

【事務局】次回の開催は令和 5 年 8 月ごろを考えており、春に確認させていただきます。本日は、これをもちまして閉会とさせていただきます。

閉会 14時15分